

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 18 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '健康づくり推進協議会運営事業' and '健康増進法'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about collaboration with citizens and lists of reports/plans.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標. Includes data for '健康づくり推進協議会委員の人数', '市民の人口', and '各種健診受診者数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with columns for 投入量 (事業費) and 期間限定総投入量. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '事業費の内訳'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes a list of activities like '01 報酬' and '11 需用費'.

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

Table with columns for 30年度の事業内容, 31年度の事業内容, 32年度の事業内容. Includes a list of activities like '主要事業', '市長マニフェスト', '未来PJ事業', '合併建設計画事業'.

事務事業名	健康づくり推進協議会運営事業	事務事業No.	10201000316	所属課	健康推進課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和53年から、行政と市民その他関係団体が連携を図りながら、市民の保健に関する取り組みについて協議し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的に協議会が設置され実施され年1回会議が開催されている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 乳幼児だけにかかわらず、高齢者のフレイル対策やがん検診向上等、健康寿命の延伸に係る事業を展開して欲しいとの要望がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	市民が積極的に参加できる健康づくりの集い(講演会・研修会等)を開催し、健康づくりに関する思想の普及啓発活動を図る必要がある。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 「自分の健康は自分で守る」という意識のもとで健康づくり活動に積極的に取り組む。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 市民主体の健康づくりを展開するため、自らの考えを実践するための知識をつけなければならない。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 行政と市民・関係団体が協同で市民の健康健康づくりの取り組みについて協議する場であり、廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 余地がない 市民の健康づくりのための協議会であり、類似団体や事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 関係行政機関、関係団体の代表で組織しており、削減はできない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 健康づくり推進協議会委員は市医師会長をはじめ健康づくりに関する市民の代表を依頼しているため公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	-																							
		コスト削減優先度評価結果	-																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B    A: 継続(現状維持)    C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う)    D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>